

## 5. 予防接種

### <第1次計画の評価>

定期の予防接種は種類や回数が増えており、麻しん風しん混合ワクチン2期の接種率と4種混合I期初回追加接種の接種率の2つを予防接種事業の評価指標としています。接種状況は、下記の表のとおりでいずれも接種率が低下しており、目標値に届いていません。市報等による啓発や未接種者への個人通知、乳幼児健診での個別指導など接種率を上げる取組みを充実させることが必要です。

### ●予防接種事業評価指標の推移

	指標名	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
指標1	麻しん風しん混合ワクチン 2期接種率	95.3%	95.6%	96.0%	95.0%	91.4%
指標2	4種混合I期初回追加接種率			89.3%	89.5%	76.8%

### <現状と課題>

平成24年9月より不活化ポリオワクチンを使用することになり、平成24年11月より4種混合ワクチンが導入されています。それにより全ての予防接種が個別接種になりました。

平成25年4月からヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンが定期接種になりましたが、子宮頸がんワクチンは、接種後に出現する副反応について専門家による分析・評価が行われた結果、同年6月14日付けの厚生労働省からの勧告により積極的勧奨を差し控えることになりました。また、平成26年10月より水痘ワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種として実施されることになりました。

### ●現在実施されている予防接種

	種類	接種対象年齢	接種方法
定期 接種 A 類 疾 病	ヒブワクチン	生後2か月～7か月未満	初回接種3回 追加接種1回
		生後7か月～12か月未満	初回接種2回 追加接種1回
		1歳～5歳	初回接種1回
	小児肺炎球菌	生後2か月～7か月未満	初回接種3回 追加接種1回
		生後7か月～12か月未満	初回接種2回 追加接種1回
		1歳～2歳未満	初回接種1回
		1歳～5歳未満	初回接種1回
	BCG	1歳未満	1回接種
	4種混合	生後3か月～7歳6か月未満	1期初回3回
			1期追加1回

	種類	接種対象年齢	接種方法
定期接種 A類 疾病	2種混合	11歳～13歳未満	1回
	水痘	1歳～3歳未満	2回
	麻しん風しん	1期 1歳～2歳未満	1回
		2期 小学校就学前年度	1回
	日本脳炎	1期初回 3歳～4歳	2回
		1期追加 4歳～5歳	1回
2期 9歳～10歳		1回	
子宮頸がん ワクチン	小学校6年生～高校1年生（16歳相当）の女子	3回	
定期接種 B類 疾病	季節性インフルエンザ	65歳以上	
	高齢者肺炎球菌ワクチン	65歳以上 （H27年4月1日～H31年3月31日までの間は、65歳70歳75歳80歳85歳90歳95歳100歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にある者）	1回
任意接種	季節性インフルエンザ	65歳未満 （小学6年生以下に接種費用の一部を助成）	2回

### <今後の方向性>

目標	予防接種についての正しい知識の普及啓発を図り、適切な時期に予防接種を受けることができ、感染症の拡大と重症化を予防する。
評価指標 （目標値）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種率の向上を目指す</li> <li>・ 麻しん風しん混合ワクチン2期の接種率 （96%以上）</li> <li>・ 4種混合I期初回追加接種率 （90%以上）</li> </ul>

### <実施計画>

今後に向けての施策	年度別事業の推進				
	28	29	30	31	32
・ 対象者への個人通知（インフルエンザを除く、定期接種）					→
・ 2か月児訪問での保護者への指導					→
・ 乳幼児健診での接種状況の確認と指導					→
・ 未接種者への再通知や市報、ホームページによる普及啓発活動					→